

基本構想・基本計画にそった主な事業

教育施設の整備に重点

観光的なPRにも配慮



福祉対策の充実

- ◆ 町立保育所の運営 1億 927万円
- ◆ 私立保育園の運営委託 5,353万円
- ◆ 社会福祉団体などの助成 322万円
- ◆ 心身に障害を持つ方の医療費・福祉手当などの給付 692万円
- ◆ 老人福祉手当などの給付 895万円
- ◆ 老人クラブの助成 182万円
- ◆ 各種の予防接種 492万円
- ◆ 各種の検(健)診などの委託 1,620万円
- ◆ 健康づくり手帳などの保健業務 567万円
- ◆ 児童手当の給付 2,292万円
- ◆ 老人保健特別会計繰入金 2,528万円
- ◆ 病院の運営に(東陽病院組合) 3,609万円
- 国民健康保険特別会計事業 8億 199万円
- 老人保健特別会計事業 4億 7,526万円

昭和62年度は、21世紀に向けて策定された「基本構想」と、これを実現するための「基本計画(5カ年)」の初年度にあたり、本計画(5カ年)の初年度にあたり、本年度の予算は、前号でお知らせしたとおり、一般会計で二十六億四百万円、特別会計を合わせた総予算は三十八億八千二百二十五万円になりました。

本年度、特に力を入れた事業は、教育施設の整備をはじめ、住民の暮らしを守る安全対策や観光的なPR、公園用地の取得などが、町づくりの基本となる住民福祉の向上を中心に、産業の振興、道路網の整備等にも引き続き力を注いでいます。また、新構想推進の機運づけとして、各分野にイメージカラーの導入を盛り込んでいます。

今月号では主な事業予算についてご紹介します。



生活基盤の整備

- ◆ 坂田池周辺の公園用地取得 6,005万円
- ◆ 坂田池周辺の公園計画などの委託 500万円
- ◆ 町道坂田・遠山線の舗装新設・改良工事 9,480万円
- ◆ 町道新青・東線の改良工事 1,980万円

- ◆ 町道の舗装新設・改良工事 7,870万円
- ◆ 町道の舗装補修・排水工事 9,924万円
- ◆ 町道改良に伴う用地取得 2,000万円
- ◆ 県道整備の負担金 350万円
- ◆ 生活路線バスの維持補助 260万円

新構想の機運づけに

- ◆ イメージカラーの導入 209万円
(シンボル塔・看板・体協ユニホームなど)
- 行政の理解・協力に
- ◆ 広報・町勢要覧等の発行 435万円
- 広域的な行政の推進に
- ◆ 各組合の負担金 3億 1,958万円
(上水道負担金等 2億8,066万円含む)



改修工事が始まった坂田池